

CONTACTS

ART IS. TOKYO GALLERY MEETS LAST DANCE

自分への宴 — 第二章 —

Art Is.TOKYO GALLERYが誕生した記念すべき年、2022年。
そのフィナーレに、Last Danceがふたたび登場します。

「視点によって何でもアートになりうる」との思いから生まれたArt Is.と、
どんな時も軽やかに我が道を行くLast Danceの新たな出会いから始まる、
「自分への宴」～第二章～へようこそ！

心うきたつホリデーシーズンに向けて、Art Is. 主宰ふくしまアヤが夢みるの
はハートウォーミングな冬の夜のストーリー。Last Danceのカラーストーン
を見たとき、瞬間的に暖炉のような暖かみを感じとり、自身の心にひとすじ
の光がさしこんだような体験をベースに、色とりどりのジュエリーが一堂に
会する宴をイメージした。

まるでブーケのように、さまざまな色を束ねたカラーストーンジュエリー—
遥かな地からやってきたマダガスカル産のブルーアパタイト、ブラジル産の
シトリンやアメシストを中心に、まるでキャンディのようにポップな合成石も
加わって、心地よいメロディを奏でている。窓からもれる灯に吸い寄せら
れるように、人々が集まってくる……。

素材の内なる声に耳を傾け、最も美しいかたちに表現するLast Dance
の作品は、リサーチに基づくジュエリーとは一線を画す、オンリーワンの存在。
それを支えるのは、海外のハイジュエラーにもひけをとらない屈指のマイス
ターたち。それぞれの石に合わせて1点ずつ仕上げられたジュエリーは、
加工技術はいうまでもなく、つけ心地や機能面でも最上級のクオリティを
備えている。主宰のふくしまアヤも、まったく既視感のない独創的なデザイン
と、日常的な機能性の融合に魅せられたひとりだ。

「自分が好きなものを、自由に楽しんで」とのメッセージがこめられたLast
Danceのジュエリーは、心を解き放つ暖かな希望の光。ほかの誰のため
でもなく、走り続けてきた自分に贈りたい。これからもずっと一緒にいられる、
最愛のパートナーとなることを願って。

ファッションエディター 成瀬浩子

<http://last-dance.jp>

ART
Is.